

今回の討議テーマ

自転車をいかしたまちづくり!を 考えてみませんか?



「立川って活気あるよね!」「人が増えたね」こんな声をよく耳にします。多摩地域における立川駅のハブ化や駅前の大型商業施設を見るにつけ、確かにたちかわの躍進は顕著です。しかし一方で、賑わいが駅周辺に限定され、そこへと集まる週末の渋滞、或いは旧来の商店街の活気は失われつつある気がします。

たちかわ全体として、もっと空間的な広がりや回遊性を高める視点からまちづくりを考えてみませんか?そこで、今回着目したのが皆さんがよくご存知の「自転車」なんです!自転車をいかして、もっと「楽しく・住みやすい」たちかわをどうやってデザインできるか、いっしょに話をしてみませんか?

市民討議会とは?

近年は国や自治体の計画・条例策定に市民の意見を取り入れる機会が増えてきましたが、その多くでは公募型の審議会や委員会などにおいて関係者や専門家などの特定の市民が意見を述べているのが実状です。しかし、会社に勤め、家事をし、子どもを育て、趣味を楽しむ、そんなごく普通の生活をするみなさんの声こそ、本当の市民・社会の声、としてもっと行政に届け、活かしていくべきではないでしょうか。

ドイツには「プラークンクスツェレ」という市民参画による討議システムがあり、利害が複雑に絡む地域問題の解決などに大きな効果をもたらしています。市民討議会はこの「プラークンクスツェレ」を日本向けにアレンジし、社会に定着させる試みで、地域や社会が抱える問題を住民が共有して考えるきっかけとなり、社会参画意識の向上、地域社会の再生の足がかりになるものと考えています。

より多く、幅広く市民のみなさんのご意見を伺う市民参画の新たなツールとして、立川青年会議所では「wellvoice たちかわ市民討議会」を地域社会に定着させていきたいと考えております。

ぜひ、みなさんの声をおきかせください。

市民討議会の特徴

- 参加者の無作為抽出
市民の中から無作為に抽出された世帯に案内状をお送りし、希望者を募ります。
- 参加者の有償性
無作為抽出により討議会に参加された方には、参加の手当ならびに当日の食事が支給されます。
- 専門家による情報提供
討議の前にそれぞれのテーマについて、行政をはじめ専門家を招き、意見ならびに情報提供を受けます。情報の操作性をさげ、異なった意見を聞けるよう複数からの意見を伺います。
- 討議報告書の公表
討議の結果はそのつど市民に対し行政関連機関・マスコミなどを通して公表します。



これまでの開催実績

「市議会と市民のかかわり」(2006年)「駅前デッキと路上演奏・パフォーマンス」・「ご近所のチカラ、求ム。」(2007年)「一教育—子ども達の未来を考えてみませんか?」(2008年)をテーマにこの立川で開催されました。またこの他、お隣の国立や武蔵村山でも行われております。過去の報告書はこちらからご覧いただけます。
(社)立川青年会議所ホームページ内
<http://www.tachikawajc.or.jp/2011/wellvoice.html>

全国に目を向ければ、この「市民討議会」という手法も、青年会議所主催や行政との共催など2010年末時点で150例を超え、新しい「しくみ」として各地で広がりを見せています。



傍聴・見学もできます

当日のディスカッションの様態を傍聴見学されたい方の受付も行います。詳しくは下記までお問い合わせください。

※傍聴・見学の方は、ディスカッションに直接加わることはできません。あらかじめご了承ください。

主催：社団法人 立川青年会議所 後援：立川市

お問合せ先：社団法人 立川青年会議所 事務局 〒190-0012 立川市曙町2-38-5 立川ビジネスセンタービル12F
TEL:042-527-1001 FAX:042-527-6600 Mail:info@tachikawajc.or.jp URL:www.tachikawajc.or.jp